

熊本地震被災の南阿蘇村袴野地域における 集落活性化のための活動

活動地域  熊本県

復興支援助成

3年目

実践

交流人口 **428人**

農地修復・整備面積 **1,190 a**

今年度計画の達成度 **100%**

目標達成度 **100%**

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

- メインとなる演奏者を決めるまでが大変であった
- ローコストな会場づくりのために手作りしたこと
- 参加募集に大変苦労したこと

■ 工夫した点

- 浅草のおかみさんの協力で米国から演奏者が来訪した
- 行政や観光協会等の地域団体等の協力を得られた
- 学生ボランティアの協力で会場づくりができた



ニューオリンズジャズフェスティバルの様相

課題

熊本地震の激甚被災地で、家屋、観光旅館、農地が壊滅的な被害を受けていて、かつ高齢者が多いため、現状のままでは、集落の再生が危ぶまれている。

目標

阿蘇の地震被災集落が、自然豊かで、多くの生命の営みが感じられる農村集落として復活する。

活動内容と成果

- 「ニューオリンズジャズフェスティバル」を実施し320人が参加
- 地震で荒廃した農地の竹草刈り、崩落した農地の修復及び整備を、本年度は120a、3年間で1,190aを実施
- 地域の農産物のブランド化として阿蘇産コーヒーをブランド化し、阿蘇の赤牛ブランド化のため赤牛4頭を育成中
- 農業体験のため落花生の植付け、収穫体験、高菜折り体験を実施、18人参加。「開墾塾」を実施、34人参加
- 農業ボランティアとして56人(延べ935人)



開墾塾がスタート



学生、社会人、一つになって荒地を開墾

全助成期間の活動を振り返って

熊本地震発災後、家屋や道路等の復旧から、農地・農業施設、観光施設等の復興や地域活性化へとニーズは刻々と変化してきた。自分たちには自分たちの力でを基本に、多くのボランティアの協力を得て、農地・農業施設の修復・整備を行い、農産物のブランド化を図り、イベント等を実施し一定の成果をあげてきた。しかし、本格的復興までにはまだまだ時間を要し、ようやく入口に立ったという状態である。

〒869-1404
 熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陽1475-1 アースライブラリー内
 電話：080-3018-0573
 E-mail：ecofarmers@asoeco.jp
 HP：https://ja-jp.facebook.com/minamiasofurusatofn/



今後の展望

農地の修復・整備及び阿蘇地域の農産物のブランド化は、今後とも継続実施していく。と同時に、3年度目に実施した「ニューオリンズジャズフェスティバル」や「開墾塾」を起爆剤に、行政や地域住民だけでなく、今後とも若者である学生やよそ者であるNPO団体等の民間団体、女性、外国人など、多くの方々を巻き込んで、地域活性化に継続・発展させ、自然豊かな阿蘇を実現できるよう取り組んでいきたい。